

## ■事業の概況

### 経営環境

当中間期のわが国経済は、東日本大震災に伴う部品供給網の寸断、電力供給不足、さらには放射能汚染の問題から、大幅な減産と自粛ムードによる個人消費の低迷を余儀なくされましたが、部品供給網の復旧に伴い、後半にかけて生産は急速に回復しました。

岐阜・愛知両県を中心とする当行の営業基盤におきましても、自動車関連での大幅な減産に加え、浜岡原発の停止による安定的な電力供給の不安に見舞われましたが、生産は急速に回復しつつあります。

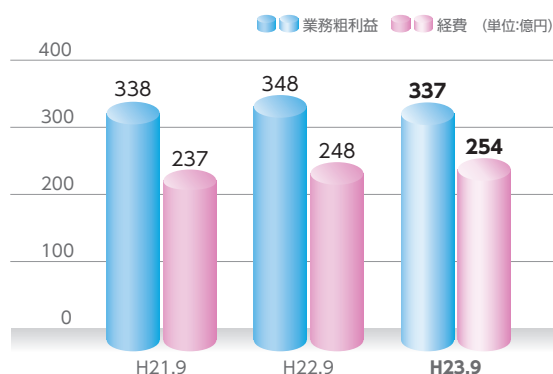
こうした状況のなかで、当中間期の業績は、次のとおりとなりました。

### 損益の状況

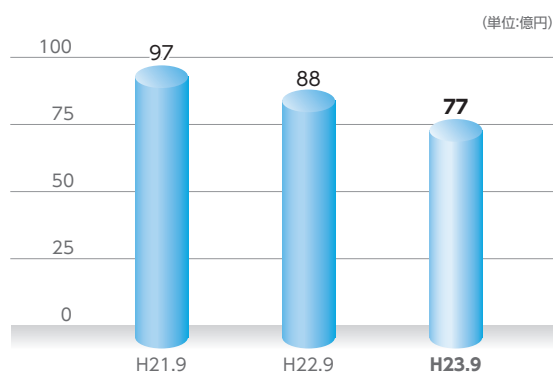
資金の効率的な運用・調達、役務取引の増強ならびに経営全般にわたる合理化の推進により、収益力の強化に努めました。

与信関係費用が減少し有価証券関係損益が増加したことなどから、経常利益は前年同期比22億円増加し99億円、中間純利益は前年同期比17億円増加し61億円となりました。

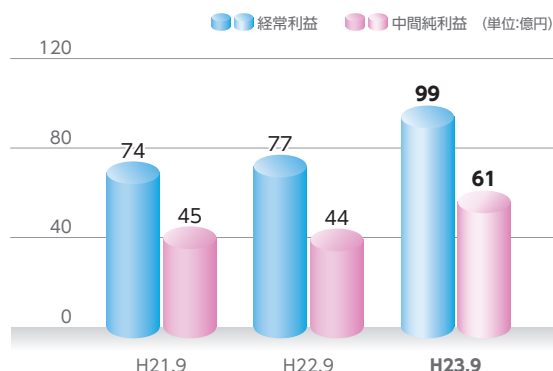
#### ◆業務粗利益・経費



#### ◆コア業務純益



#### ◆経常利益・中間純利益



#### ●用語説明

##### 業務粗利益

資金利益・役務取引等利益・その他業務利益を合計したものです。

##### コア業務純益

一般企業の営業利益に相当する業務純益から、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益を除いて算出され、銀行の本来業務から得られる利益をより正確に表す指標です。

##### 経常利益

業務純益に株式の売却損益・償却および不良債権処理に要した費用等を加減したものです。

##### 当期純利益(中間純利益)

経常利益に特別損益および税金等を加減した最終的な利益です。

## 預貸金の状況

■ 十六銀行単体ベース ■ 岐阜銀行統合ベース(合併を前提に岐阜銀行の残高を反映した計数)

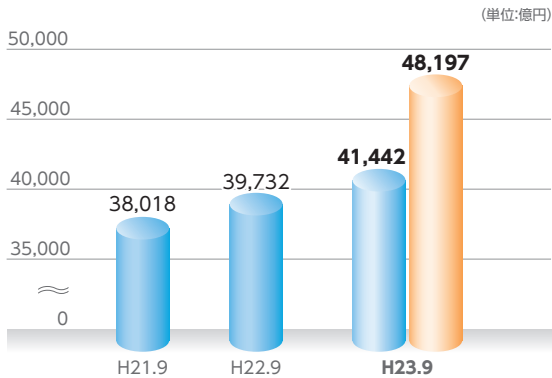
### ● 預金

キャンペーン等の各種営業施策を通じ、低コストかつ長期安定的な資金の調達に努めました。また、資産運用ニーズの高まりや多様化に的確にお応えするため、個人を中心に投資信託、公共債、年金・終身保険等投資型商品の増強に努めました。この結果、中間期末の預金残高は、前年同期比1,710億円増加し4兆

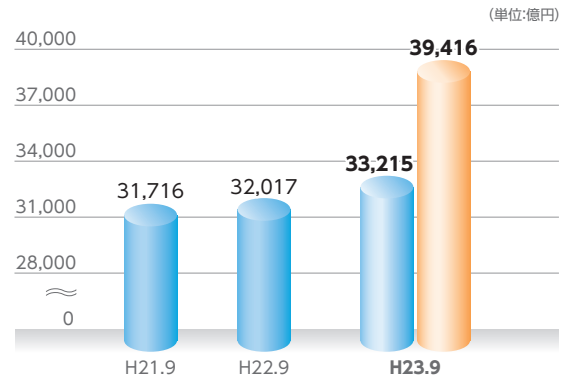
1,442億円となり、個人預り資産残高は、前年同期比1,198億円増加し3兆3,215億円となりました。

なお、合併を前提に岐阜銀行の残高を反映した中間期末の預金残高は4兆8,197億円、個人預り資産残高は3兆9,416億円となりました。

#### ◆ 預金残高



#### ◆ 個人預り資産残高 (預金+投資信託+公共債+年金保険等)



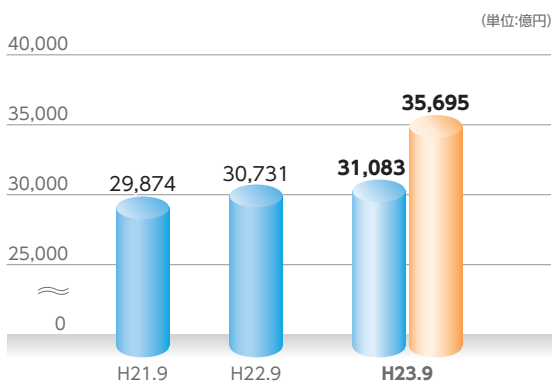
### ● 貸出金

地元企業の資金需要に積極的にお応えするとともに、住宅ローンを中心とする個人向け融資や地方公共団体向け融資の取扱いに努めました。この結果、中間期末の貸出金残高は、前年同期比352億円増加し3兆1,083億円となりました。住宅ローンなどを含む消費者ロー

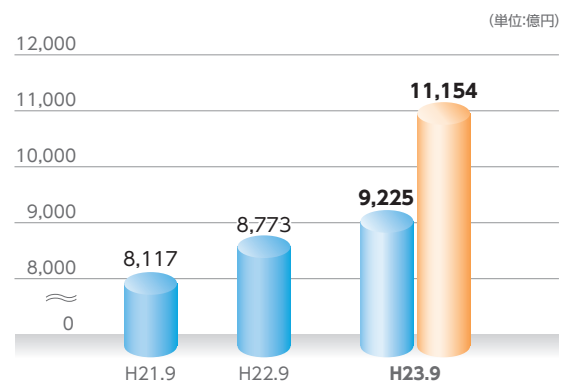
ン残高は、前年同期比452億円増加し9,225億円となりました。

なお、合併を前提に岐阜銀行の残高を反映した中間期末の貸出金残高は3兆5,695億円、消費者ローン残高は1兆1,154億円となりました。

#### ◆ 貸出金残高



#### ◆ 消費者ローン残高

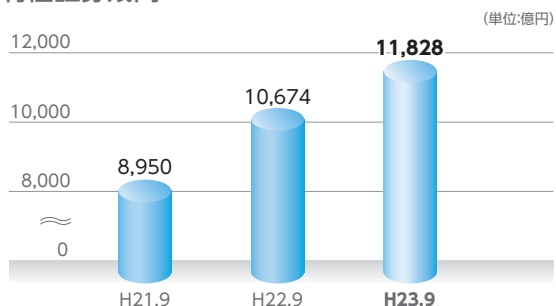


## 有価証券の状況

国債、地方債等の引受、購入のほか、相場環境を注視しつつ、資金の効率的運用のための債券等の売買を行いました。この結果、中間期末の有価証券残高は、前年同期比1,154億円

増加し1兆1,828億円となりました。なお、金融商品会計に基づき時価評価を実施していますが、評価益と評価損を通算した評価損益は+217億円となりました。

### ◆有価証券残高



### ◆有価証券の評価損益 (単体) (平成23年9月30日現在)

|     | 評価損益 | 評価益 | 評価損 |
|-----|------|-----|-----|
| 株式  | 68   | 139 | 70  |
| 債券  | 180  | 186 | 6   |
| その他 | △ 31 | 27  | 59  |
| 合計  | 217  | 353 | 135 |

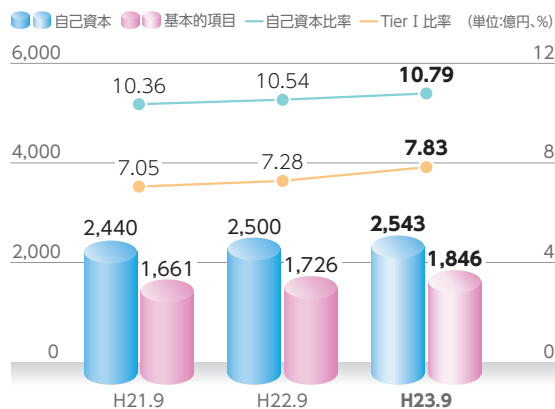
(注) 時価は、中間期末日における市場価格等に基づいています。

## 自己資本比率

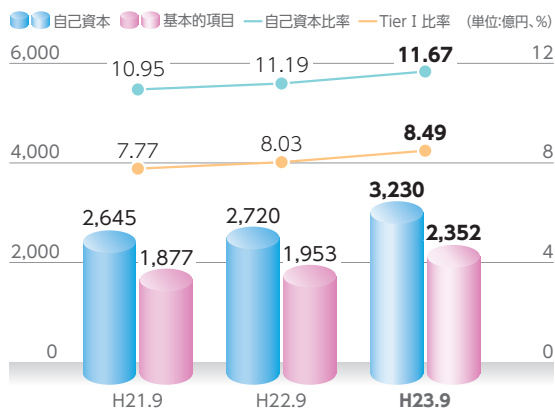
平成23年9月末の自己資本比率は単体で10.79%、連結で11.67%となり、国内基準の4%を大幅に上回っています。また、自己資本

比率のうち基本的項目 (Tier I) の比率は、単体で7.83%、連結で8.49%となりました。

### ◆単体自己資本比率



### ◆連結自己資本比率



「自己資本比率」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準 (平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

### ●用語説明

#### 自己資本比率

銀行の健全性を示す最も重要な指標の一つで、自己資本比率が高いほど健全性は高いといえます。なお、国内基準では4%以上を維持することが求められています。

#### 基本的項目 (Tier I)

資本金・資本剰余金・利益剰余金などで構成されます。

## 配当政策

利益配分につきましては、金融取引を巡るリスクが多様化するなかにあって財務体質の一層の向上に留意しつつ、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。こうしたなか、前記基本方針に基づき、当中間期末配当金を3円50銭といたしました。期末配当金に

つきましても、3円50銭を予定しておりますので、年間配当金は7円となります。内部留保金につきましては、強固な経営体質の構築と競争力の維持向上をはかるため有効に活用してまいります。

## 連結の業績

銀行業におきましては、経常収益は、株式等売却益が増加したことに加え、前第3四半期連結会計期間末から連結範囲に含めた株式会社岐阜銀行（以下、「岐阜銀行」という。）の経常収益が寄与したことなどから、前年同期比121億51百万円増加し556億78百万円となりました。経常費用は、与信関係費用が減少したものの、岐阜銀行を連結範囲に含めた影響などから、前年同期比74億39百万円増加し432億29百万円となりました。この結果、セグメント利益（経常利益）は前年同期比47億12百万円増加し124億49百万円となりました。

リース業におきましては、さまざまな顧客ニーズにお応えし積極的な営業展開をいたしました結果、経常収益は前年同期比57百万円減少し108億86百万円、経常費用は前年同期比6億42百万円減少し98億8百万円となり、セ

グメント利益（経常利益）は前年同期比5億85百万円増加し10億77百万円となりました。クレジットカード業、信用保証業等のその他におきましては、経常収益は前年同期比47百万円減少し26億34百万円、経常費用は前年同期比3億94百万円減少し18億51百万円となり、セグメント利益（経常利益）は前年同期比3億48百万円増加し7億83百万円となりました。

この結果、グループ全体での当中間期の経常収益は前年同期比120億6百万円増加し683億15百万円、経常費用は前年同期比63億81百万円増加し540億30百万円となり、経常利益は前年同期比56億24百万円増加し142億84百万円、中間純利益は前年同期比46億80百万円増加し92億13百万円となりました。

## 連結キャッシュ・フローの状況

当中間期における営業活動によるキャッシュ・フローは、債券貸借取引受入担保金が減少したことなどから前年同期比316億10百万円減少し393億97百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出が減少したことなどから前年同期比777億31百万円増加し△459億25百万円

となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、劣後特約付借入金の返済などにより前年同期比11億21百万円減少し△24億11百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は、当中間期中に89億57百万円減少し1,749億91百万円となりました。

## 不良債権の状況

「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律（金融再生法）」に基づく貸出金等の資産の査定結果は、右表のとおりです。

### ◆金融再生法に基づく資産の査定（単体）

（平成23年9月30日現在）

（単位：億円）

|               | 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 危険債権  | 要管理債権 | 正常債権   | 合計     |
|---------------|-------------------|-------|-------|--------|--------|
| 貸出金等の残高(A)    | 202               | 844   | 126   | 30,654 | 31,825 |
| 担保等の保全額(B)    | 66                | 484   | 39    |        |        |
| 引当額(C)        | 136               | 144   | 14    |        |        |
| (B + C) = (D) | 202               | 628   | 53    |        |        |
| カバー率          | 100.0%            | 74.5% | 42.0% |        |        |

(注) 1. 単位未満四捨五入

2. 「金融再生法に基づく資産の査定」には、「貸出金」のほか、「支払承諾見返」、「自行保証付私募債」、「未収利息」、「仮払金」等を含みます。

3. カバー率 = (D) ÷ (A) × 100

## 不良債権比率

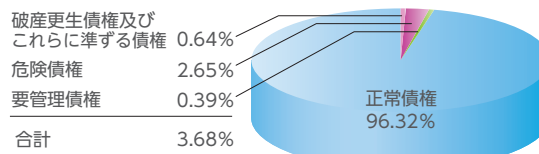
不良債権比率は、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が0.64%、「危険債権」が2.65%、「要管理債権」が0.39%で、合計3.68%となり、前年同期比0.18ポイント上昇しました。

※<ご参考>

岐阜銀行統合ベースの不良債権は1,350億円、不良債権比率は3.70%となりました。

(注)「岐阜銀行統合ベース」は、当行と岐阜銀行の合算計数であります。なお、岐阜銀行計数はパーチェス法による時価評価後のものを用いております。

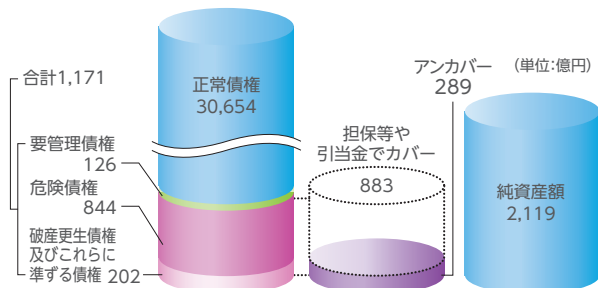
### ◆不良債権比率



## 不良債権に対する備え

金融再生法に基づく正常債権以外の債権は1,171億円となっていますが、その75.4% (883億円) が担保等や引当金でカバーされています。残りの24.6% (289億円) については、お取引先の経営状態から、直ちに引当を要するものではありませんが、将来の貸倒に対しても、当行の純資産の部合計額は2,119億円あり、これに与える影響は軽微です。

### ◆金融再生法に基づく開示額



## 不良債権の状況（連結）

金融再生法に準拠した貸出金等の資産の査定結果は、右表のとおりです。

### ◆金融再生法に準拠した資産の査定（連結）

（平成23年9月30日現在）

（単位：億円）

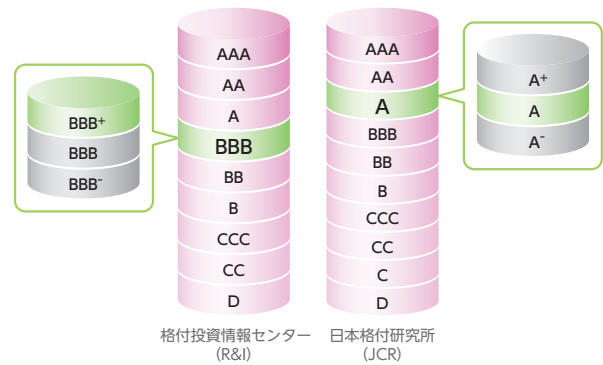
|               | 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 危険債権  | 要管理債権 | 正常債権   | 合計     |
|---------------|-------------------|-------|-------|--------|--------|
| 貸出金等の残高(A)    | 256               | 987   | 146   | 35,562 | 36,952 |
| 担保等の保全額(B)    | 76                | 573   | 43    |        |        |
| 引当額(C)        | 180               | 154   | 15    |        |        |
| (B + C) = (D) | 256               | 727   | 58    |        |        |
| カバー率          | 100.0%            | 73.6% | 40.1% |        |        |

(注) 1. 単位未満四捨五入  
2. 「金融再生法に準拠した資産の査定（連結）」には、連結子会社の「貸出金」等のほか、「カード債権」、「リース・割賦債権」、「求償債権」等を含みます。  
3. カバー率 = (D) ÷ (A) × 100

## 格付け

当行は、格付投資情報センター（R&I）、日本格付研究所（JCR）の2つの格付機関から格付けを取得しています。

### ◆格付け（平成23年9月30日現在）



### ●用語説明

#### 格付け

企業が発行する債券等の元金金が約定どおりに支払われるか、あるいは企業そのものの健全度・信用度を簡単な記号で表したもので、第三者である格付機関が公正な立場から格付けを行います。

#### 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

#### 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権

#### 要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」を除く、3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

#### 正常債権

債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権